

The Correspondences of 1290 Basic *Kango* Verbal Nouns in Three Languages, Japanese, Chinese, and Korean

YOON Jeong-in

Abstract

The three languages of Japanese, Chinese, and Korean share many *Kango*, words written in Chinese characters. From the multilingual signage that is found throughout Japan today, we can visually check the status of the shared *Kango* among the three languages.

In this paper, I classify and analyze the correspondences among the three languages of Japanese, Chinese, and Korean, focusing on the “Basic *Kango* Verbal Noun 1290” presented by Yoon (2023a), and I try to quantify the current situation by roughly dividing their agreement and disagreement into seven types.

From the survey, it was found that there is over a 90% match between Japanese and Korean, and Japanese and Chinese have over 70% correspondence. Moreover it became clear that more than 70% of the Verbal Nouns in the three languages correspond to each other. This is a major positive transfer for the learner. In actual situations, different *Kango* and other expressions may be used, but more than 70% of correspondence will be a reference and advantage for the learning of each language and for contrastive research of those languages.

2 字漢語動詞 1290 語の対応にみる 日中韓 3 言語の異同

尹 亭 仁

キーワード：言語景観、多言語表示、2 字漢語動詞、日中韓 3 言語、頻度

1. はじめに

日本語・中国語・韓国語の 3 言語は多くの漢語を共有している。今日、日本全国で展開されている多言語表示から 3 言語間の漢語の共有状況が視覚的に確認できる。図 1～図 3 の「出発」「祈祷」「営業」に中国語は簡体字が、韓国語はハングルが表記されており、表記上の違いはあるものの、同じ意味の漢語が用いられている。図 1～図 3 のように一致する漢語は 3 言語の学習者の語彙力の向上に役立っている（以下では、韓国語はハングルの後ろに漢字を併記する）。



図 1 出発／出发／
출발(出發)



図 2 祈祷／祈禱／
기도(祈禱)



図 3 營業／营业／
영업(營業)

一方で図 4～図 6 の「消火」「精算」「改札」のように日韓両言語では共通しているが、中国語は違う漢語の場合もある。



図4 消火／灭火／
소화(消火) 1)



図5 精算／结算／
정산(精算)



図6 改札／剪票／
개찰(改札)

図7の「喫煙」と図8の「総合」においては中韓両言語では共通しているが、日本語は違う漢語を用いている。図9と図10の「帯出」の場合、日中では共通しているが、韓国語には適切な表現がない²⁾。このように3言語間で一致しない様子も多々見られる。



図7 喫煙／吸烟／흡연(吸烟)



図8 総合／综合／총합(綜合)
(東大病院)



図9 帯出(神奈川大学図書館)



図10 帯出(北京・故宫博物院・2023)

図1～図10に用いられている漢語は「漢語動名詞」(Verbal Noun、以

下 VN と称する) という共通項を有している。図 1～図 10 の漢語 VN の日本語・中国語・韓国語の対応を整理すると (1abcd) のようになる (下線部は一致する漢語を表わしている)。

(1) 日本語	中国語 (簡体字)	韓国語 (ハングル+漢字)
a. <u>出発</u>	<u>出发</u>	<u>출발(出發)</u>
<u>祈祷</u>	<u>祈祷</u>	<u>기도(祈禱)</u>
<u>営業</u>	<u>营业</u>	<u>영업(營業)</u>
b. <u>消火</u>	<u>灭火</u>	<u>소화(消火)</u>
<u>精算</u>	<u>结算</u>	<u>정산(精算)</u>
<u>改札</u>	<u>剪票</u>	<u>개찰(改札)</u>
c. <u>喫煙</u>	<u>吸烟</u>	<u>흡연(吸煙)</u>
<u>総合</u>	<u>综合</u>	<u>종합(綜合)</u>
d. <u>帯出</u>	<u>帶出</u>	—

(1a) は日中韓 3 言語間で一致する漢語 VN の例である。(1b) は日韓両言語間で一致する漢語 VN の例であり、(1c) は中韓両言語間で一致する漢語 VN、(1d) は日中両言語間で一致する漢語 VN の例である。これ以外に「右折」や「左折」のようにいずれの言語間でも一致しない漢語 VN も少なくない。

曾て漢字文化圏と言われていた日中韓 3 言語における言語接触の様子は今「言語景観」という時代の鏡を通して可視化しつつある。その中で日中韓の 3 言語間での一致と不一致の様子は 3 言語の学習者にとって混乱と誤用の一因になっている³⁾。それぞれの言語においての誤用の様子は異なるが、どのような漢語 VN が一致して、どのような漢語 VN が一致しないかのリストが必要とされている。

本稿では、上記のような混乱と誤用につながる状況を整備すべく、尹亭仁（2023a）に提示された 1290 語の基本漢語 VN を中心に日中韓 3 言語間での対応関係を調べ、一致と不一致の様子を上記の 4 つのタイプと各言語のみの漢語 VN の 3 つのタイプを合わせて 7 つのタイプに大別し、共有の現状と程度の数値化を試みる。

2. 先行研究の考察

2000 年以降日本全国で広がっている多言語表示を、漢語 VN を中心に捉えると、日中韓の 3 言語間で対応する場合が少なくない。しかし、(1b) のように韓国語の漢語 VN は中国語より日本語と共通する場合が多いように見える。空港や駅構内でよく目にする「案内」や「駐車」などが中国語にないこともこの見方の根拠の 1 つになる。

従来日中韓 3 言語の対照研究は主に日中か日韓、または中韓の 2 言語間で行われてきた。管見の限り、尹亭仁（2023b）で取り上げられているような 3 言語間の対照研究は始まったばかりと言える状況である。尹亭仁（2023c）で取り上げられているように、漢語 VN は文法カテゴリーの中でコアと言えるヴォイスへの派生にも大きく関わっているため、学習者にとって共通する漢語 VN の情報は学習における応用力の発揮に大いに寄与するものと思われる。

日韓両言語で動詞の語数は名詞に次いで 2 番目に多く、韓国語の場合は全語彙の約 15% を占めている⁴⁾。とりわけ 7000 語は下らない 2 字漢語 VN（尹亭仁：2019）は動詞の半分以上を占めており、漢語名詞としての機能をも有しているため、学習のレベルが上がるにつれて使用頻度はさらに高くなる。この日中韓 3 言語の漢語 VN の対応関係に見られる一致と不一致のリストが求められる所以である。

3. 正の転移と負の転移

第二外国語教育において重要な用語のペアに「正の転移」と「負の転移」がある。それぞれの定義と本稿での捉え方は下記に提示する。本稿では、漢語 VN の使用状況と関連して「使用語彙」と「理解語彙」という用語も用いる。

3.1 正の転移

「正の転移 (positive transfer)」は母語の言語構造や類似性が目標言語の習得を促進することを指す。本稿では、日中韓 3 言語間で漢語 VN が一致する場合、日韓や日中、または中韓の 2 言語間で一致する場合、学習上の「正の転移」として捉える。

3.2 負の転移

「負の転移 (negative transfer)」は母語の言語構造や類似性が目標言語の習得の妨げになることを指す。本稿では、日中韓 3 言語間の対応において互いに異なる漢語 VN を用いる場合、学習上の「負の転移」として捉える。

日中韓 3 言語間における正の転移と負の転移の様子とリストは 3 言語間でのそれぞれの対応の様子を捉えないと見えてこないものであるが、本稿ではまずは尹亭仁 (2023a) に提示された 1290 語の日本語の漢語 VN を以てその対応の様子と割合の提示を試みたい。

3.3 使用語彙

「使用語彙」は普段自分が話したり書いたりして使用する語彙のことを

指す。

3.4 理解語彙

「理解語彙」は、普段自分は使用しないが聞いたり読んだりして意味が理解できる語彙のことを指す。使用語彙は理解語彙の半分程度と言われている。

4. 「基本漢語動詞 1290 語」とは

4.1 選定の対象と基準

尹亨仁（2023a）では2つの辞書の『日本語基本動詞用法辞典』（1989）と『デイリー日韓英辞典』（2017）の語彙調査から2字漢語 VN をそれぞれ 165 語と 1,278 語拾い上げた。ここで得られたのは延べ語数 1,443 と異なり語数 1,290 で、この異なり語数 1,290 を「基本漢語動詞」の策定のたたき台として提示している。

4.2 本稿での調査対象

本稿では、1,290 語のデータを《基本漢語 VN1290》と呼び、日中韓3言語間での対応の様子の考察に用い、正の転移と負の転移へと分け、今後3言語の学習に必要なと思われる正の転移の数値化を試みる。

5. 日中韓3言語における漢語 VN の対応のタイプ

日中韓3言語間の漢語 VN は（1abcd）に提示した4つのタイプとそれぞれの言語にしかない3つのタイプに分けることができる。その7つのタイプの詳細は（2）のようになる。

(2) 日中韓 3 言語の対応にみる 7 つのタイプ

- 【タイプⅠ】日中韓 3 言語間で一致する漢語 VN
- 【タイプⅡ】日韓 2 言語間で一致・中国語は不一致の漢語 VN
- 【タイプⅢ】日中 2 言語間で一致・韓国語は不一致の漢語 VN
- 【タイプⅣ】中韓 2 言語間で一致・日本語は不一致の漢語 VN
- 【タイプⅤ】日本語のみの漢語 VN
- 【タイプⅥ】中国語のみの漢語 VN
- 【タイプⅦ】韓国語のみの漢語 VN

以下では、《基本漢語 VN1290》を用いてこの 7 つのタイプについて詳しく見ていきたい。《基本漢語 VN1290》は日本語からのアプローチであるため、主に【タイプⅠ】～【タイプⅣ】が分類と考察の対象になる。

5.1 タイプⅠ：日中韓 3 言語間で対応

《基本漢語 VN1290》で【タイプⅠ】は「935 語」で、72.48% を占めている。(3) のような漢語 VN が含まれる。

- (3) 悪化・握手・安心・安定・意識・一致・開始・外出・解除・解説・改善・決心・失礼・努力・報告・印刷・引用・運営・運行・運送・運動・延期・延長・援助・演技・往復・応用・汚染・改革…

日本の言語景観から図 1～図 3 以外にも図 11～図 13 のように【タイプⅠ】を見ることができる。



図 11 歓迎／欢迎／환영(歓迎)



図 12 警告／警告／경고(警告)



図 13 注意／注意／주의(注意)

5.2 タイプⅡ：日韓2言語間で対応

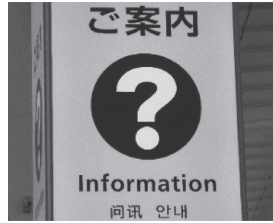
《基本漢語 VN1290》で日韓両言語間で一致する漢語 VN は「1235 語」で、95.74% を占めている。(3) 以外に (4) のような漢語 VN が含まれる。一致する割合が非常に高い。

- (4) 外食・軽減・試合・受験・食事・悪用・暗記・案内・依頼・意味・
移転・引率・運転・栄転・永住・演出・応援・押収・下宿・下落・
仮設・可決・稼働・開催・開店・企画・寄付・休業・給油…

言語景観からも図 14～図 16 のように、【タイプⅡ】を見ることができ
る。



図 14 駐車／停車／주차(駐車)

図 15 案内／问讯／
안내(案内)図 16 到着／到达／
도착(到着)

日韓両言語の学習者にとって図 1～図 6、図 11～図 16 は正の転移になるが、日中両言語の学習者にとっては負の転移になる。(4) も日韓両言語間では一致するが、中国語にはない漢語 VN である。(4) の非対応の漢語 VN は【タイプ VI】の中国語のみの漢語 VN の存在につながる。これについては 5.6 で取り上げる。日韓両言語間で一致しない、すなわち負の転移につながる残りの 55 語には (5abc) のような類がある。

- (5) a. 고동(鼓動)・고장(故障)・분규(粉糾)・염좌(捻挫)・영향(影響)
(5 語)
- b. 긴박(緊迫)・난폭(亂暴)・부족(不足)・쇠약(衰弱)・완곡(彎曲)・유사(類似)・적합(適合)・충실(充實)・혼란(混亂)・혼잡(混雜)
(10 語)
- c. 마비(痲痺)-되다・숙련(熟練)-되다・오염(汚染)-되다(3 語)

(5a) は対応する語彙が漢語名詞の場合であり、(5b) は対応する語彙が漢語形容詞の場合である。(5c) は対応する語彙が漢語 VN であるが、動詞化の接尾辞が「하다 hada」ではなく「되다 doida」になる場合である。いずれも母語干渉による誤用になる場合が多い。尹亭仁 (2023a) ではこれ以外にも 100 語以上ある「VN-hada/doida 共存動詞」も負の転移につ

なかる要素として取り上げているが、本稿では明らかに負の転移になる要素だけを分類と分析の対象にしているため、これについては尹亭仁(2023a)を参照されたい。

一致しない 55 語は (5abc) の 18 語以外に、(6abc) のように他の漢語 VN が対応する場合や固有語動詞が対応する場合など、様々な様子を呈している。

- (6) a. 対応する韓国語の漢語 VN が韓国語のみで用いられる VN

迷惑：민폐(民弊)・下痢：설사(泄瀉)・勉強：공부(工夫)・

和訳：일역(日譯) …

右折：우회전(右回轉)・左折：좌회전(左回轉) …

- b. 対応する韓国語の漢語 VN が日本語と意味がずれている VN

挨拶：인사(人事)・返却：반환(返還) / 반납(返納)・

油断：방심(放心) …

- c. 対応する漢語 VN がないため、固有語動詞になったり説明になったりしている場合

遠慮する：삼가다・介助する：시중들다・喧嘩する：싸우다・

世話する：돌보다…

(6a) の「민폐(民弊)・설사(泄瀉)・공부(工夫)・일역(日譯)」などはタイプⅦになる VN である。(6b) の「返却」の場合、韓国語の「반각(返却)」は意味がずれているため、図 17 や図 19 とは違って図 18 のように「반환(返還)」が用いられたり、図 20 のように「반납(返納)」が用いられたりしている。



図 17 返却 (羽田空港)



図 18 반환 (羽田空港)



図 19 返却 (神奈川大学)

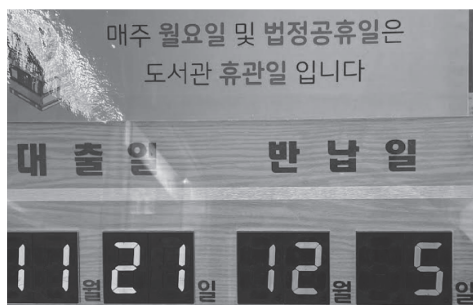


図 20 반납 (図書館・ソウル)

【タイプⅡ】の中には韓国の国語辞典に見出し語として載ってはいるが、意味が通じない、すなわち理解語彙としても機能しない漢語 VN も少なくない。(7) は文脈が与えられてもすぐには意味の把握が厳しいと思われる類である。調査の結果は 95.74% の一致率を見せているが、使用語彙になると低くなる。

- (7) 계고(稽古)・고로(苦勞)・곤포(梱包)・귀택(歸宅)・냉우(冷遇)・반각(返却)・변해(辯解)・복각(復刻)・소제(掃除)・인퇴(引退)・자공(自供)・자비(煮沸)・적면(赤面)・집금(集金)・참렬(參列)・최촉(催促)・폐구(閉口)・피재(被災) …

5.3 タイプⅢ：日中2言語間で対応

《基本漢語 VN1290》で、日中両言語間で一致する漢語 VN は 940 語で、72.87% の割合である。この中で【タイプⅢ】には (8abc) のような 5 語の漢語 VN が含まれる。

- (8) a. 遠慮・優遇
- b. 影響・故障
- c. 議論

(8a) の「遠慮」と「優遇」は韓国語にはない VN で、(8b) の「影響」と「故障」は韓国語に名詞の用法しかない。すなわち VN ではなく、名詞の用法しかない。韓国語は漢語 VN ではないため、日本語母語話者韓国語学習者は「*영향(影響)-하다」「*고장(故障)-하다」のように、母語の干渉による誤用を起こしている。(8c) の「議論」は韓国語でも漢語 VN であるが、意味がだいぶずれている。

5.4 タイプⅣ：中韓2言語間で対応

《基本漢語 VN1290》から中韓両言語間で一致する漢語 VN は 936 語で、72.56% の割合である。この中で【タイプⅣ】の漢語 VN は (9) の「종합(総合)」の 1 語が見られた。図 8 でこの様子が確認できる。

- (9) 종합(総合)

図 21 と図 22 の「喫煙」の場合、韓国語に対応する「꺽연(喫煙)」があるが、使用語彙としては中国語と同様の「흡연(吸煙)」が用いられている(図 23 参照)。日中韓 3 言語の対応において「喫煙・꺽연(喫煙) ⇔ 吸

烟・흡연(吸煙)」と反対の場合もある。



図 21 喫煙：흡연(吸煙)



図 22 喫煙：흡연(吸煙)



図 23 吸烟：흡연(吸煙)
(中国延辺・2023)

(10) の韓国語の漢語 VN は日本語と共通する【タイプⅡ】にも中国語と共通する【タイプⅣ】にもなりうるが、使用語彙としては【タイプⅡ】になる。

- (10) 卒業・졸업(卒業) ⇔ 毕业・필업(畢業)
 移転・이전(移轉) ⇔ 迁移・천이(遷移)
 休業・휴업(休業) ⇔ 停业・정업(停業)
 執着・집착(執着) ⇔ 貪恋・탐련(耽戀) …

今回、【タイプⅣ】が《基本漢語 VN1290》の対応からはあまり見られなかったが、韓国語から捉えると多くの漢語 VN が見えてくる。(11abc) のような VN が挙げられる。

- (11) a. 감당(堪當)・강매(強賣)・강점(強占)・개학(開學)・광복(光復)・
 괘념(掛念)・내외(内外)・만류(挽留)・명심(銘心)・모함(謀陷)・
 문병(問病)・방학(放學)・보답(報答)・불구(不拘)・비치(備置)・
 사과(謝過)・외면(外面)・작별(作別) …

- b. 간택(揀擇)・낙방(落榜)・납공(納貢)・멸문(滅門)・반포(反哺)・
보우(保佑)・봉양(奉養)・분부(分付)・보답(報答)・보양(補養)・
상처(喪妻)・거사(舉事) …
- c. 매출(賣出)・부침(浮沈)・소매(小賣)・수속(手續)・차입(借入)・
호출(呼出) …

(11a) は頻度の高い VN で、(11b) はわりと古い言い方で頻度の低い類である。(11c) も【タイプⅣ】に含まれるが、日本語の和語動詞から中韓両言語に受け入れられたと思われる類である。この類は日本語では和語動詞なので日本語からのアプローチでは見えてこない。【タイプⅣ】の例である (11ab) は筆者が漢語 VN の中で最も明らかにしたい類である。

ここまでの考察をまとめると、〈表 1〉のようになる。

〈表 1〉《基本漢語 VN1290》にみる 4 つのタイプと日中韓 3 言語の共有状況

日本語	日中韓に共通	日韓に共通	日中に共通
1290 語	不一致 355 語	不一致 55 語	不一致 350 語
	935 語 (72.48%)	1235 語 (95.74%)	
			940 語 (72.87%)

ここからはいずれの場合も負の転移になる 3 言語間の漢語 VN の類と様子について見てみよう。

5.5 タイプⅤ：日本語のみの漢語 VN

《基本漢語 VN1290》で日本語のみの漢語 VN は 37 語で、2.87% を占めている。(12) の 37 語は対応する中国語もなく、韓国語もない漢語 VN である。対応においていずれも負の転移になる。これらの一部の対応につ

いては 5.2 で取り上げた。

- (12) 挨拶・介助・喧嘩・仕度・辞儀・馳走・都合・迷惑・暗唱・右折・
下痢・我慢・怪我・堪能・見物・工夫・降参・左折・試着・邪魔・
承知・心配・世話・抽選・頂戴・白状・文通・返事・勉強・油断・
用意・用心・来日・留年・了解・了承・和訳

5.6 タイプⅥ：中国語のみの漢語 VN

本稿で取り上げている《基本漢語 VN1290》は日本語を中心に捉えているため、中国語からのアプローチはできていない。ただし、日中両言語間の非対応の様子を調べているうちに中国語のみの漢語 VN が多く見えてきた。本稿では、「外食」に対応する中国語の「在外吃饭」のように説明になっている類は除外し、2 字漢語 VN になっている語のみ一部を取り上げたい。

(13a) は対応する漢語 VN が中国語にしかないため、日韓両言語を母語とする中国語学習者にとっては新たに覚えなないといけない負担の大きい類である。(13b) は日本語と韓国語にもある漢語 VN を用いているが、意味がずれているため、用法に慣れるまで時間のかかる類である。

- (13) a. 試合(比赛)・依頼(托付)・引率(率领)・運転(驾驶)・開催(举办)・
寄贈(赠送)・気絶(昏厥)・給油(加油)・脅迫(胁迫)・控除(扣除)・
合流(汇合)・告白(坦白)・削除(删除)・雑談(闲聊)・残業(加班)・
質問(质询)・主催(主办)・出勤(上班)…
- b. 悪用(濫用)・意味(意思・意义)・応援(支援・援助・救援)・可決(通过)・
関与(参与)・共感(同感・共鸣)・企画(计划)・休憩(休息)・
拒否(拒绝・谢绝)…

(13ab) のような類は日本の言語景観からも見られる。図4～図6と図15の「案内」と「問訊」は(13a)に、図14の「駐車」と「停車」および図16の「到着」と「到达」は(13b)に含まれる。筆者はこの中国語からのアプローチのため、1年間北京を中心に中国で語彙調査を行なった。

5.7 タイプⅦ：韓国語のみの漢語 VN

日韓2言語間で対応する漢語 VN は《基本漢語 VN1290》で95.74%の割合を呈していた。残りの55語は(5abc)と(6abc)に提示したように対応において様々な様子を呈し、負の転移になっている。《基本漢語 VN1290》は日本語からのアプローチであるため、実際韓国語のみの漢語 VN はそれほど見えてこない。しかし、尹・車(2014)と尹亭仁(2023a)で取り上げられているように、日韓両言語間では多くの非対応、すなわち負の転移の様子が見られる。

尹亭仁(2023a)では韓国語から捉えた場合、日韓両言語間で負の転移になる50語の漢語 VN の様子を取り上げている。その詳細を(14abc-def)で見てみよう。

- (14) a. 거래(去來)・거론(舉論)・구박(驅迫)・궁리(窮理)・농담(弄談)・단속(團束)・도모(圖謀)・답장(答狀)・대답(對答)・대비(對備)・대신(代身)・대접(待接)・시작(始作)・염려(念慮)・예매(豫買)・이사(移徙)・작심(作心)・선물(膳物)・재수(再修)・조심(操心)・참석(參席)・호소(呼訴) (22語)
- b. 개학(開學)・명심(銘心)・방학(放學)・부탁(付託)・비치(備置)・사과(謝過)・실수(失手)・아부(阿附)・입주(入住)・자초(自招)・접수(接受)・제고(提高)・참견(參見)・환승(換乘)・환전(換錢) (15語)

- c. 가출(家出)・낙서(落書)・대출(貸出)・출입(出入)・취급(取扱)・
취소(取消)・할인(割引)・호출(呼出)
- d. 짐작(斟酌)・사정(事情)・충전(充填)
- e. 세수(洗手)
- f. 의심(疑心)

(14a) は韓国語のみにある VN、すなわち【タイプⅦ】になる漢語 VN である。【タイプⅦ】にどのような VN があり、何語ほどあるかを明らかにすることが、筆者が長年この研究を続けている目的である。筆者は今 7000 語の漢語 VN を対象に 3 言語間の対応関係および数値化を試みている⁵⁾。

(14b) は中韓両言語間で共通する【タイプⅣ】になる。このように、日中韓 3 言語で捉えるからこそ、(14b) が日韓両言語間で負の転移になる根拠が得られた。7000 語から (14c) は、日本語は和語動詞なのに韓国語（一部は中国語でも）は漢語 VN になっている場合である。(14c) の「貸出: 대출(貸出)」の用法は図 19 と図 20 で確認できる。(14d) の「斟酌」「事情」「充填」は日本語にもあるが、意味が異なる VN である。本稿で取り上げた「議論」や「返却」と同様の類である。程度の差はあるものの、意味がずれている VN が多いことは否めない。

(14e) の「세수(洗手)」は中韓で共通する VN であるが、意味が異なっている。中国語は VN の意味通りであるが、韓国語は主に「洗顔」や「洗面」の意味になる。(14f) の「疑心」の場合日本語は名詞であるが、韓国語は漢語 VN である。尹・車 (2014) でも取り上げられているが、日韓両言語間では同じ漢語名詞を共有しながら韓国語の方が漢語 VN に派生する語が多い。《基本漢語 VN1290》は日本語を軸にしたアプローチであるため、韓国語からは見えてこない日本語の漢語 VN が 5 語含まれ

ており、(14f) と反対の類である。

韓国語の漢語 VN には日本語の和語動詞から入って漢語 VN 化したものも多々ある。(14c) 以外にも (15) のような漢語 VN が挙げられる。このような類の数は把握されていないが、筆者の調査によると、2 字漢語 VN だけで 100 語以上ある。漢語 VN ではないが、(16) のように日本語は和語なのに韓国語は 1 字漢語動詞の類も 20 語以上ある。

(15) 가불(假拂)・매립(埋立)・언도(言渡)・인도(引渡)・인상(引上)・인양(引揚)・인하(引下)・입회(立會)・절상(切上)・절하(切下)・지불(支拂)・추월(追越)・취하(取下)・할증(割増)・합석(合席)・후불(後拂) …

(16) 구(求)하다 : 求める・답(答)하다 : 答える・비(比)하다 : 比べる・원(願)하다 : 願う・취(醉)하다 : 酔う・피(避)하다 : 避ける・행(行)하다 : 行なう・향(向)하다 : 向かう …

(11c) および (14c) と関連する図 24 の「取消」と図 25 の「呼出」を見てみよう。「取消」と「呼出」は 2 字漢語 VN に見えるが、和語動詞であり、対応する韓国語は漢語 VN になっている。中国語の場合、「取消」



図 24 取消と취소(取消)



図 25 呼出と호출(呼出)

は同じ漢語 VN になっているが、「呼出」に対しては「呼叫」が用いられている。

6. 《基本漢語 VN1290》にみる 7 つのタイプと日中韓 3 言語の共有状況

6.1 日中韓 3 言語の共有状況

本稿では、漢語 VN の中で 9 割近くを占めている 2 字漢語 VN の 1290 語にみる日中韓 3 言語の対応の様子を取り上げた。その様子をまとめると、〈表 2〉と〈表 3〉のようになる。

〈表 2〉《基本漢語 VN1290》にみる 7 つのタイプと日中韓 3 言語の共有状況

タイプ	タイプ 1	語数	割合	タイプ 2	語数	割合
I	日中韓で共通	935	72.48%	日中韓で共通	935	72.48%
II	日韓で共通	1,235	95.74%	日韓のみで共通	295	22.87%
III	日中で共通	940	72.87%	日中のみで共通	5	0.39%
IV	中韓で共通	936	72.56%	中韓のみで共通	1	0.08%
V	日本語のみ	37	2.87%	日本語のみ	—	—
VI	中国語のみ	—	—	中国語のみ	—	—
VII	韓国語のみ	—	—	韓国語のみ	—	—

〈表 3〉《基本漢語 VN1290》にみる 7 つのタイプと日中韓 3 言語の共有漢語 VN の例

【Ⅰ】日中韓共通の VN		
悪化・握手・安心・安定・意識・一致・開始・外出・解除・解説・改善・決心・失礼・努力・出発・祈祷・営業・歓迎・警告・注意・報告・印刷・引用・運営・運行・運送・運動・延期・延長・援助・演技・往復・応用・列挙・列席・恋愛・練習・連合・連結…		
【Ⅱ】日韓共通の VN	【Ⅲ】日中共通の VN	【Ⅳ】中韓共通の VN
外食・軽減・試合・受験・食事・悪用・暗記・案内・依頼・意味・移転…	遠慮・優遇・影響・故障・議論	総合
【Ⅴ】日本語のみの VN	【Ⅵ】中国語のみの VN	【Ⅶ】韓国語のみの VN
挨拶・介助・喧嘩・仕度・辞儀・馳走・都合・迷惑・暗唱・右折・下痢…	—	—

6.2 理解語彙としての漢語 VN と相互の影響

日中韓の 3 言語は全く違うわけではなく微妙に違っている場合が多い。「漢字による意味の制約」と「漢字による意味の助力」を得ていると言えそうである。日本の多言語表示からこれからも漢語は相互の「理解語彙」として機能しつづける可能性は高いと思われる。

2023 年現在、日本語の影響だと思われるが、上海のレストランなどで「料理」が見られるようになった（図 26 参照）⁶⁾。また中国語の辞書に載っていない「直営」（図 27）や「直行」（図 28・図 29）も北京などで使われている。さらに漢語 VN ではないが、図 30 の「物語」なども北京で見られるようになった。



図 26 料理 (上海・2023)

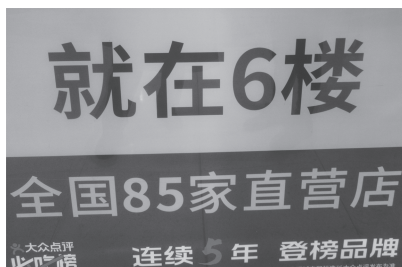


図 27 直営 (上海・2023)

図 28 直行
(北京園明園・2023)図 29 直行
(上海・2023)

図 30 「物語」と「物語」

図2の「祈祷室：기도실(祈禱室)」と図5の「精算機：정산기(精算機)」が近年韓国でも見られるようになった⁶⁾。日本を訪れる韓国人は日本の多言語表示サービスからこのような日韓両言語間の対応に気づくだろう。特に韓国語を母語とする日本語学習者にとって日本の言語景観はいい視覚教材の1つであると考えられる。このように3言語間で、一部ではあるが、漢語名詞や漢語 VN が取り入れられている現状が確認されつつある。

7. 《基本漢語 VN1290》の活用における問題点と提案

7.1 頻度の低い VN が含まれている

本稿で取り上げている《基本漢語 VN1290》は『日本語基本動詞用法辞

典』(1989)と『デイリー日韓英辞典』(2017)の2つの辞書の語彙調査によるものである。『日本語基本動詞用法辞典』(1989)は漢語VNの語彙数が少なく、『デイリー日韓英辞典』(2017)の場合は見出し語の選定の基準が明らかではない。そのためなのか、(17)のように頻度の高くない漢語VNも含まれている⁷⁾。

- (17) 陷落・慰労・映写・栄転・下宿・化合・格闘・灌溉・気絶・逆襲・
 恐喝・駆動・空襲・啓蒙・固執・鼓動・控訴・産卵・煮沸・静観・
 陳情・舗装・抱擁・流布・凌駕・狼狽…

7.2 日本の多言語表示サービスと頻度

長年韓国語教育と韓日・日韓辞典の編纂に携わっている筆者にとって「頻度」は非常に重要なチェック項目である。編者を務めた『デイリーコンサイス韓日・日韓辞典』(2009)と『身につくデイリーコンサイス韓日・日韓辞典』(2014)の見出し語には*の数で頻度を表している。頻度が高い語彙はよく用いられる実用性の高い語彙であることを示している。筆者は頻度の高い語彙を提示するため、またそれに説得力を持たせるため、韓国の小説や新聞の社説を用いて何度も語彙調査を行ない、辞書の見出し語に反映してきた⁸⁾。

現在、日本では多くのエリアや施設で多言語サービスが提供されている。筆者はこのようなエリアを「多言語表示サービスエリア」、施設は「多言語表示サービス施設」と呼んでいる。国際線が就航している空港や博物館・美術館・資料館⁹⁾などは「多言語表示サービス施設」で、全国のJR駅周辺、九州地方の多くの観光地周辺が「多言語表示サービスエリア」の例である。近年大学のキャンパスや病院も多言語表示サービス施設になりつつある。神奈川大学みなとみらいキャンパスではスペイン語を含む5言

語表示（図 31 参照）が見られるし、東大病院ではロシア語を含む 5 言語表示（図 32 参照）が見られるようになった。



図 31 神奈川県
みなとみらいキャンパス



図 32 東大病院

多くの人が目にする語彙も頻度が高いと言えるので、今後語彙教育に必要な頻度調査に言語景観にみる多言語表示も欠かせない要素であると考えている。多言語表示に用いられている漢語 VN も頻度の判定に考慮していく必要がある。これによって日中韓 3 言語間の関わりもより具体的に捉えられるようになるだろう。

7.3 『朝日新聞』の「社説」に見る漢語 VN

筆者は『朝日新聞』の 3 年間（2019–2021）の「社説」を用いて頻度調査を行なった。異なり語数は〈表 4〉のように 1200～1300 語の間で推移している。しかし、(18) のように《基本漢語 VN1290》と分布上の様子は異なる。ここから 3 年間のいずれの年にも用いられた 300 語の漢語 VN を「高頻度漢語 VN」と区分し、基本漢語動詞のリストに反映する予定である。

〈表 4〉『朝日新聞』『社説』（2019-2021）に見る漢語 VN の語数

年度	延べ語数	異なり語数
2019	7263	1272
2020	7262	1228
2021	7322	1244

(18) 『朝日新聞』『社説』3 年間（2019-2021）の上位 12 の漢語 VN

2019 年：

検討・指摘・説明・表明・公表・強調・批判・共有・議論・
主張・確認・判断・対応

2020 年：

検討・説明・表明・判断・指摘・公表・共有・強調・発表・
対応・実現・確認・主張

2021 年：

説明・表明・指摘・検討・確保・共有・判断・強調・確認・
主張・発表・実現・対応

7.4 「漢語 VN 分類語彙集」の必要性

2000 年代に入ってから日本の観光立国の動きと相まって急速に展開されるようになった多言語表示や多言語サービスから、とりわけ漢語を媒介とする共通性の高い日中韓 3 言語の使用状況を共時的観点で整理する必要があると思われる。筆者はこれのために、1 年間北京で在外研究をしながら中国語を中心に 3 言語に共通する語彙を集めてきた。現在、日韓と韓日の両言語のそれぞれの 7000 語の漢語 VN の資料集⁹⁾に、中国語を加える作業をしている。3 言語の学習者に教育用資料として提示するためには「整備」の作業が必要である。これを通して、日中韓 3 言語の共有状況を

具体的に捉えたい。当然ながら調査対象の中心に据える言語によっていずれの共通する VN の出入りは違ってくる。これによって、正の転移の割合も変わってくる。

8. 終わりに

本稿では、尹亨仁（2023a）に提示された《基本漢語 VN1290》を中心に日中韓 3 言語間での対応の様子を分類・分析し、一致と不一致を 7 つのタイプに大別し、現状の数値化を試みた。日韓両言語間では 9 割以上、日中両言語間では 7 割以上、日中韓 3 言語においても漢語 VN の 7 割以上が対応していることが分かった。【タイプⅠ】～【タイプⅣ】の共有状況の様子は見る事ができたが、日本語を中心に捉えたため、【タイプⅤ】～【タイプⅦ】は一部の様子しか見られなかった。実際の場面では違う漢語 VN や他の表現を用いることも多々あるだろうが、7 割以上の対応はそれぞれの語彙教育と対照言語研究において 1 つの目安と学習上の利点になると思われる。1290 語ではなく 7000 語レベルの語彙集¹⁰⁾になると、対応関係の割合は当然ながら変わってくる。この長丁場になる作業は今後の課題としたい。

* 本研究は、JSPS 科研費 19K00775 の助成を受けたものである。

注

- 1) 中国語に「消火」は「消火栓」には用いられるが、「消火器」は「灭火器」になる。
- 2) 韓国の図書館で「帯出」に相当する表現は見当たらない。敢えて言うなら「貸出禁止」になると思われる。
- 3) 「一致」は 3 言語で同じ形であることを意味するものではなく、簡体字中国語であれ、ハングルを用いる韓国語であれ、同じ漢語がベースになっていて、意味的に共通または近いことを指す。

- 4) 韓国の国立国語院の『標準国語大辞典』（インターネット版）によると、名詞は73.883%、動詞は15.479%である。名詞が動詞の4.7倍以上を占めている。
- 5) 『日中辞典』第3版（2015：2033）にこのような傾向についての説明が提示されている。
- 6) 筆者は2022年7月17日～22日（6日間、仁川空港利用）、2023年8月28日～31日（4日間、金浦空港利用）にソウル市内で漢語VNの調査を行なった。
- 7) 辞書形より活用形を重視したところもあり、見出し語の扱いなど規模の大きい辞書との違いが見られる。
- 8) 張志剛（2014）は『読売新聞』（2010年）に用いられた漢語動詞を調べ、4,383語の2字漢語VNを取り上げている。小林英樹（2004）は『朝日新聞』の社説（1989年）に用いられた漢語動名詞を16,576語（異なり語数1,440）提示している。7,000語があればこれらの数はカバーできると思われる。
- 9) 東京国立博物館、京都国立博物館、大阪歴史博物館、九州国立博物館、長崎原爆資料館なども多言語表示サービス施設である。
- 10) 同じ7,000語であっても、対応の様子は多岐にわたっている。また片方の言語だけが漢語動詞の場合も多く、本格的な分析に取組むには時間がかかる。日本語の場合は『デイリーコンサイス国語辞典』第5版（2010）と『大辞林』第4版（2019）から拾いあげたものを中心に分類作業をしている。

参考文献

- 沖森卓也・蘇紅〔編著〕（2014）『中国語と日本語』朝倉書店
- 小林英樹（2004）『現代日本語の漢語動名詞の研究』ひつじ書房
- 張志剛（2014）『現代日本語の二字漢語動詞の自他』くろしお出版
- 尹亨仁（2019）「韓国語の漢語動詞の語彙調査（2）—『李箱文学賞作品集 2006-2015』の分析を中心に—」『神奈川大学言語研究』41、pp. 1-30、神奈川大学言語研究センター
- 尹亨仁（2020）「韓国語の漢語ヴォイスの語彙調査—金蕉の散文『鉛筆で書く』（2019）にみる漢語ヴォイスの使用状況—」『神奈川大学言語研究』42、pp. 1-26、神奈川大学言語研究センター
- 尹亨仁（2023a）「日韓両言語における2字漢語動詞の対応—1290語の分析と「基本漢語動詞」の策定—」『人文研究』210、pp. 115-145、神奈川大学人文学会
- 尹亨仁（2023b）「日本の多言語表示にみる日中韓3言語の漢語の使用—交差する漢字文化圏と共通語彙の状況を中心に—」『人文学研究所報』69、pp. 67-79、神奈川大学人文学研究所
- 尹亨仁（2023c）「韓国語の「漢語VN-sikida」の用法と派生上の特徴—2つの語彙調査の結果を中心に—」『神奈川大学言語研究』45、pp. 1-23、神奈川大学言語研究センター

尹亭仁・車香春（2014）『韓国語と日本語の 2 字漢語動詞に関する一考察—韓日辞典に見られる異同を手がかりに一』『神奈川大学言語研究』36、pp.1-24、神奈川大学言語研究センター

辞書

小泉保他編（1989）『日本語基本動詞用法辞典』大修館書店

三省堂編修所編（2017）『デイリー韓日英辞典』[カジュアル版] 三省堂

佐竹秀雄・三省堂編修所編（2010）『デイリーコンサイス国語辞典』第 5 版（中型版）三省堂

北京・对外経済貿易大学・北京商務印書館・小学館共同編集（2015）『日中辞典』第 3 版 小学館

松村明編（2019）『大辞林』第 4 版 三省堂

尹亭仁編（2009）『デイリーコンサイス韓日・日韓辞典』三省堂

尹亭仁編（2014）『身につくデイリーコンサイス韓日・日韓辞典』三省堂